

北海道における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：国見亮佑（にじいろほっかいどう）

研究要旨

道内 8 か所で配布場所を設定し、対面配布で 161 キット、個別に 6 キット、WEB 配布 50 キットも組み合わせ、総計 217 キットを配布した。

アンケートに回答し、有効回答であったものは 156 名であった。95.5%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 3 件、梅毒の陽性件数は 25 件（既感染も含む）であった。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 95 名の属性については、30 歳未満が 24.2%を占めた。北海道の居住者が 98.9%であった。生涯初の検査経験割合は 32.6%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 64.2%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 58.9%を占めた。今回は 2 回目の取り組みであったが、当事者団体 2 団体が協力し、道内広域にわたる配布会が実施できた。また広報については仙台地域とも連携できることで効果を発揮できた。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。

また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。北海道地域では、会場を借りての対面配布と WEB にて配布する方式を組み合わせ実施した。

B. 研究方法

帯広、札幌、北見、釧路、旭川、函館の計 8 か所、8 日間にわたる配布会を設定した。

受け取り希望者には、google フォームの申し込みサイトを作成し、そのサイトから申し込みをしてもらい、研究協力者が申し込み内容を確認した上で、検査時間や場所、アンケートの

協力の依頼をメールで送信した。パソコンからのメールが届かないトラブルがあったので、携帯電話番号を任意で記入してもらうことにした。

広報については、初めの段階ではにじいろほっかいどうの公式サイトと twitter で告知していた。札幌での配布のときには、コミュニティ内の有力者に拡散を依頼した。9 月から東北と北海道で連携したかたちで、アプリ広告を出し、その後研究班独自の広報サイトでの広報に移行させた。地方での配布の前にゲイ向け商業施設へポスターを郵送し、掲示板に広告を掲出した。

会場でアンケート QR コードを提示し、自分のスマートフォンから答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後にキットを受け渡す方法をとった。

相談については、キット対面での配布時もスタッフが常駐して対応、また WEB 配布分について、利用方法等、相談があった際は、メールで対応を行った。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1) 検査キットの配布日・配布件数

対面では、9月19日から12月12日にかけて配布した。受け取り者は167名であった。アプリ広告の効果は大きかった。札幌の申し込みが殺到し、150個では足りなくなってしまった。緊急事態宣言中で他の検査場が閉鎖されていたのもあるが、ゆうそう検査が知られてきていることもある。

今年度は配布当初からにじいろほっかいどうとレッドリボンさっぽろのスタッフで配布することとしていた。札幌では一緒に、地方ではそれぞれ担当を分けて行った。

表1 郵送検査キットの配布概要（対面配布）

	配布場所	配布日	担当者数	申込者数	受取者数	初受検者数
①	札幌1 (市民活動プラザ)	9/19	3名	23名	21名	4名
②	札幌2 (サークルさっぽろ)	9/20	5名	79名	69名	23名
③	北見 (北見経済センター)	9/25	1名	3名	2名	0名
④	帯広 (とがちプラザ)	10/2, 3	1名	24名	19名	5名
⑤	旭川 (旭川市民文化会館)	10/2, 3	2名	18名	15名	6名
⑥	釧路 (まなぼっと幣舞)	10/9, 10	1名	9名	7名	1名
⑦	函館 (亀田交流プラザ)	10/9, 10	2名	16名	13名	3名
⑧	札幌3 (中央区民センター)	12/12	3名	21名	15名	2名
計	道内8箇所	8日間		193名	161名	44名

2) 検体の送付状況とアンケートの結果

道内8か所で配布場所を設定し、対面配布で161キット、個別に6キット、WEB配布50キットも組み合わせ、総計217キットを配布した。

アンケートに回答し、有効回答であったものは156名であった。95.5%が結果サイトにログインしていた。HIV陽性件数は3件、梅毒の陽性件数は25件（既感染も含む）であった。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者95名の属性については、30歳未満が24.2%を

占めた。北海道の居住者が98.9%であった。生涯初の検査経験割合は32.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち64.2%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は58.9%を占めた。

WEB配布でIDを使用している人は数が少なく分析は難しかった。

表2 郵送検査利用者の概要

	地域 北海道 にじいろ ほっかいどう コミュニティセンター
a 配布総数	217
対面配布数	167
WEB配布数	50
b 受検者アンケート回答者数	156
c 利用者数；郵送検査会社での受付数	157
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)	72.4%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）	150（95.5%）
抗体検査結果	*重複感染（2名）
<input type="checkbox"/> HIV感染症	
e 判定不能者数（割合 e/c）	3（1.9%）
f 陽性数（割合 f/c）	3（1.9%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	0.0（0.0%）
<input type="checkbox"/> 梅毒	
g 判定不能者数（割合 g/c）	6（3.8%）
h 陽性数（割合 h/c）	25（16.6%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	4.7（3.1%）
i 追跡可能者実数；無料ID使用者数（割合 i/c）	96（61.1%）
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）	117（74.5%）
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）	80（51.0%）

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

D. 考察

キット確保数については、対面配布用として180個（当初150個準備・追加30個）、web配布用として50個確保した。札幌の申し込みが殺到し、150個では足りなくなってしまった。緊急事態宣言中で他の検査場が閉鎖されていたのもあるが、ゆうそう検査が知られてきていることもあるので、もし今後行うのであれば、個数を多めに確保したい。

配布時の反応については、9月の札幌は緊急事態宣言下での配布だったので、「検査したかったので開催してくれてありがたい」との声が多くあった。地方での配布では、月に1度の保健所検査しかない地域も多く、気軽に検査が受けられると好評であった。この「ゆうそう検

査」で初めて HIV 検査を受ける人からは、HIV に感染した場合の対応や、感染防止の方法などについての質問があった。1 人の対応時間が 20 分だったので、時間が足りずに十分にお答えをすることができない時もあったが、おおむね時間内に説明配布を終了することができた。

広報活動については、にじいろほっかいどうの公式サイトと twitter で告知をしたほか、やろっこと共同で 9 月の 3 週間に GPS 付アプリ広告掲出をした。GPS 付アプリ広告を出すことが決まっていたので、広告で宣伝ができる期間に配布を集中させた。地方での配布については、地方の商業施設でのポスター掲出を行った。

配布にあたっては、札幌市内の商業施設でのポスター掲出、掲示板への広告掲出（有料）、「札幌ハッテン掲示板」への広告掲出（無料）を行った。広告の効果について、GPS 付アプリ広告は北見・釧路では限定的であったが、それ以外では非常に効果が大きかった。今後も GPS 付アプリ広告を出す時期に配布を集中させることにする。商業施設でのポスター掲出、はほとんど効果がなかった。「ハッテン場掲示板」は効果があったので、今後も協力をお願いする。

配布場所の選定について、9 月下旬の配布について、当初札幌市・北見市の公共施設を予約していたが、緊急事態宣言の発出により施設が閉鎖されたため、場所を変更して行った。場所の選定や調整に時間がかかったが、確保することができた。

保健所・拠点病院との連携について、「ゆうそう検査」の開催について、レッドリボンさっぽろから北海道内の保健所と拠点病院にお知らせを送付した。郵送検査キットの精度への疑問などから協力を断ってきた機関があり、関係機関との連携に課題が残った。日常的に関係機関との信頼関係の構築を行うことが必要である。

また、web 申し込みの住所を選ぶ欄が都道府県単位になっている。道内は広いので「北海道」だけではどの地域からの申し込みかわからない。web 申し込みが多く、対面配布をしていない地域が分かれば、そこでの配布も検討できる。北海道を 14 に分ける「振興局単位」か、4 つに分ける「道央・道南・道北・道東」が選べるようになれば傾向がわかる。来年度以降ゆうそう検査を行うのであれば検討した方がよいと思われた。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査が休止になり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあった。

東北・北海道広域連携のアプリ広告は、北海道地域でも申し込み件数増加に効果が高かった。HIV 郵送検査キットの配布のお知らせが全面に出っていたので、申し込みやすかったのではないかと考えられる。にじいろほっかいどうのみならず、札幌で長く活動している NPO 法人レッドリボンさっぽろとも協働できたことで、北海道内での HIV 予防啓発の活性化につながったと考えられた。

MSM ALL JAPAN のメンバーからも、配布の進め方を相談したり、啓発資材を供与してもらい、受検者に説明する内容を相談したり、連携、協力ができたことが非常に有意義であった。

E. 結論

北海道地域で、にじいろほっかいどうとレッドリボンさっぽろの 2 つの団体が協働し、ゆうそう検査キットの配布を実施した。新型コロナ感染症拡大の中、状況が読めない状況が続く中、211 キットの配布ができた。保健所の検査機会が少なくなっているばかりでなく、北海道という地域性を考慮すると、CBO が検査機会を創出し、検査行動を促進する取り組みは重要である。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020.
DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. *日本エイズ学会誌*, 23(1), 18-25, 2021.
- 4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. *日本エイズ学会誌*, 22(3), 136-146, 2020

2. 学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya,

Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.

3. 学会発表（国内）

- 1) 井上洋士、後藤大輔、船石翔馬、高橋良介、塩野徳史、金子典代：成人前期（20歳代）MSMでの性行動とHIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB開催, 2020
- 2) 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：トランスジェンダーとセクシュアルヘルス. GID学会第23回研究大会・総会, WEB開催, 2022

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	配布方法とIDの利用状況												Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用				合計		
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO													
にじいろほっかいどう（北海道）	60	6.0%	95	18.6%	1	0.2%	23	22.8%	38	13.6%	217	9.4%	
検査DATA 採取した月													
2021年9月			42	44.2%			2	8.7%	0	0.0%	44	28.2%	<0.01
2021年10月			31	32.6%			1	4.3%	6	15.8%	38	24.4%	
2021年11月			4	4.2%			1	4.3%	9	23.7%	14	9.0%	
2021年12月			9	9.5%			6	26.1%	13	34.2%	28	17.9%	
2022年1月			9	9.5%			13	56.5%	10	26.3%	32	20.5%	
合計			95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	156	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果													
初めて陽性と知った			0	0.0%			0	0.0%	3	7.9%	3	1.9%	0.04
陰性だった			93	97.9%			23	100.0%	34	89.5%	150	96.2%	
判定不能			2	2.1%			0	0.0%	1	2.6%	3	1.9%	
再罹患			0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計			95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	156	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果													
既往あり			1	1.1%			0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0.03
初めて陽性と知った			3	3.2%			4	17.4%	6	15.8%	13	8.3%	
陰性だった			77	81.1%			17	73.9%	31	81.6%	125	80.1%	
判定不能			3	3.2%			2	8.7%	1	2.6%	6	3.8%	
再罹患			11	11.6%			0	0.0%	0	0.0%	11	7.1%	
合計			95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	156	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況													
未読			3	3.2%			3	13.0%	1	2.6%	7	4.5%	0.10
既読			92	96.8%			20	87.0%	37	97.4%	149	95.5%	
合計			95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	156	100.0%	
年齢階級（10歳区分）													
29歳以下	15	25.0%	23	24.2%			6	26.1%	15	39.5%	59	27.3%	0.76
30-39歳	18	30.0%	29	30.5%			9	39.1%	12	31.6%	68	31.5%	
40-49歳	17	28.3%	25	26.3%			7	30.4%	7	18.4%	56	25.9%	
50-59歳	9	15.0%	15	15.8%			1	4.3%	4	10.5%	29	13.4%	
60歳以上	1	1.7%	3	3.2%			0	0.0%	0	0.0%	4	1.9%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			23	100.0%	38	100.0%	216	100.0%	

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況										合計	Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布			
居住地												
北海道	59	98.3%	94	98.9%	9	75.0%	22	88.0%	184	95.8%	<0.01	
東北	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%		
北関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
東京	1	1.7%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	2	1.0%		
南関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
北陸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
東海	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	1	0.5%		
近畿	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	1	0.5%		
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
九州	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	12.0%	3	1.6%		
合計	60	100.0%	95	100.0%	12	100.0%	25	100.0%	192	100.0%		
国籍												
日本	60	100.0%	93	97.9%					153	98.7%	0.52	
アジア	0	0.0%	2	2.1%					2	1.3%		
欧米	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%		
その他	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%		
合計	60	100.0%	95	100.0%					155	100.0%		
【事後アンケート】あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。												
中心市街地			51	64.6%	6	50.0%	19	76.0%	76	65.5%	0.07	
郊外住宅地			21	26.6%	6	50.0%	3	12.0%	30	25.9%		
農村地域・漁村地域			7	8.9%	0	0.0%	1	4.0%	8	6.9%		
山間部			0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	1	0.9%		
離島			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
無回答			0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	1	0.9%		
合計			79	100.0%	12	100.0%	25	100.0%	116	100.0%		
性別												
男性	60	100.0%	93	97.9%	23	100.0%	38	100.0%	214	99.1%	0.86	
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
トランスジェンダー	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%		
その他	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%		
合計	60	100.0%	95	100.0%	23	100.0%	38	100.0%	216	100.0%		
【事後アンケート】あなたはトランスジェンダーですか。												
はい			1	1.3%	0	0.0%	3	12.0%	4	3.4%	0.08	
いいえ			77	97.5%	12	100.0%	21	84.0%	110	94.8%		
無回答			1	1.3%	0	0.0%	1	4.0%	2	1.7%		
合計			79	100.0%	12	100.0%	25	100.0%	116	100.0%		
居住形態												
独居	38	63.3%	53	55.8%					91	58.7%	0.40	
同居	22	36.7%	42	44.2%					64	41.3%		
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%		
合計	60	100.0%	95	100.0%					155	100.0%		

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用		ID不使用				
			対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。									
ある	34	56.7%	64	67.4%			98	63.2%	0.23
ない（今回が初めての検査）	26	43.3%	31	32.6%			57	36.8%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。									
ある	15	25.0%	34	35.8%			49	31.6%	0.21
ない	45	75.0%	61	64.2%			106	68.4%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）									
保健所	5	8.3%	16	16.8%			21	13.5%	0.36
病院/クリニック	7	11.7%	5	5.3%			12	7.7%	0.05
郵送検査	2	3.3%	24	25.3%			26	16.8%	<0.01
その他	4	6.7%	1	1.1%			5	3.2%	0.04
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）									
ゲイバー	15	25.0%	26	27.4%			41	26.5%	0.85
ゲイベント	1	1.7%	1	1.1%			2	1.3%	1.00
ゲイショップ	1	1.7%	1	1.1%			2	1.3%	1.00
有料のハッテン場	14	23.3%	20	21.1%			34	21.9%	0.84
野外のハッテン場	13	21.7%	13	13.7%			26	16.8%	0.27
いずれもない	30	50.0%	51	53.7%			81	52.3%	0.74
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）									
Twitter	19	31.7%	32	33.7%			51	32.9%	0.86
Instagram	4	6.7%	4	4.2%			8	5.2%	0.71
VERO	7	11.7%	6	6.3%			13	8.4%	0.25
9monsters	54	90.0%	78	82.1%			132	85.2%	0.25
Men's Net Japan	4	6.7%	8	8.4%			12	7.7%	0.77
KO-MENSTV	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
その他	3	5.0%	7	7.4%			10	6.5%	0.74
いずれもない	5	8.3%	10	10.5%			15	9.7%	0.78
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。									
受け取っていない	59	98.3%	77	81.1%			136	87.7%	<0.01
受け取ったけど、利用していない	0	0.0%	1	1.1%			1	0.6%	
受け取って、利用した	1	1.7%	17	17.9%			18	11.6%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。									
よく知っている	7	11.7%	11	11.6%			18	11.6%	0.82
少し知っている	18	30.0%	28	29.5%			46	29.7%	
あまり知らない	23	38.3%	42	44.2%			65	41.9%	
全く知らない	12	20.0%	14	14.7%			26	16.8%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況						合計	Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用		ID不使用				
			対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？									
ある	54	90.0%	89	93.7%			143	92.3%	0.54
ない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）									
彼氏や恋人	11	18.3%	14	14.7%			25	16.1%	0.55
友達やセクフレ	35	58.3%	60	63.2%			95	61.3%	0.67
その場限りの相手	32	53.3%	51	53.7%			83	53.5%	0.69
その他	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0.54
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。									
ある	43	71.7%	77	81.1%			120	77.4%	0.39
ない	11	18.3%	12	12.6%			23	14.8%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。									
ある	18	30.0%	23	24.2%			41	26.5%	0.45
ない	36	60.0%	66	69.5%			102	65.8%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。									
ある	10	16.7%	16	16.8%			26	16.8%	0.70
ない	44	73.3%	73	76.8%			117	75.5%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。									
ある	2	3.3%	0	0.0%			2	1.3%	0.13
ない	52	86.7%	89	93.7%			141	91.0%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。									
ある	0	0.0%	1	1.1%			1	0.6%	0.52
ない	54	90.0%	88	92.6%			142	91.6%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。									
ある	0	0.0%	2	2.1%			2	1.3%	0.38
ない	54	90.0%	87	91.6%			141	91.0%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況									
非常用	43	71.7%	68	71.6%			111	71.6%	0.64
常用	11	18.3%	21	22.1%			32	20.6%	
過去6ヶ月間がない	6	10.0%	6	6.3%			12	7.7%	
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%	

表7 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況								Pearson カイ2乗		
	アンケート		ID使用		ID不使用		合計				
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布					
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。											
とてもよく知っている	7	11.7%	23	24.2%			30	19.4%	0.16		
具体的には知らないが、聞いた	41	68.3%	56	58.9%			97	62.6%			
まったく知らない	12	20.0%	16	16.8%			28	18.1%			
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%			
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図											
服薬したくない/どちらかといえば	8	13.3%	21	22.1%			29	18.7%	0.21		
服薬したい/どちらかといえば	52	86.7%	74	77.9%			126	81.3%			
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%			
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験											
ない	55	91.7%	89	93.7%			144	92.9%	0.75		
ある	5	8.3%	6	6.3%			11	7.1%			
合計	60	100.0%	95	100.0%			155	100.0%			
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）											
梅毒	5	8.3%	13	13.7%			18	11.6%	0.44		
A型肝炎	1	1.7%	0	0.0%			1	0.6%	0.39		
B型肝炎	3	5.0%	10	10.5%			13	8.4%	0.37		
C型肝炎	1	1.7%	0	0.0%			1	0.6%	0.39		
クラミジア	4	6.7%	9	9.5%			13	8.4%	0.77		
尖圭コンジローマ	4	6.7%	7	7.4%			11	7.1%	1.00		
淋病	3	5.0%	2	2.1%			5	3.2%	0.38		
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%			
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%			
毛じらみ	9	15.0%	24	25.3%			33	21.3%	0.16		
性器ヘルペス	1	1.7%	3	3.2%			4	2.6%	1.00		
その他	1	1.7%	0	0.0%			1	0.6%	0.39		
いずれもない	37	61.7%	47	49.5%			84	54.2%	0.19		
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）											
アプリ広告で知った			63	79.7%	7	58.3%	4	16.0%	74	63.8%	<0.01
インターネットで知った			14	17.7%	2	16.7%	12	48.0%	28	24.1%	<0.01
コミュニティセンターで知った			1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0.39
ゲイバーで知った			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
友達から聞いた			6	7.6%	3	25.0%	5	20.0%	14	12.1%	0.07
その他			3	3.8%	1	8.3%	3	12.0%	7	6.0%	0.19
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。											
簡単だった			46	58.2%	6	50.0%	20	80.0%	72	62.1%	<0.01
どちらでもない			11	13.9%	5	41.7%	2	8.0%	18	15.5%	
難しかった			22	27.8%	0	0.0%	1	4.0%	23	19.8%	
無回答			0	0.0%	1	8.3%	2	8.0%	3	2.6%	
合計			79	100.0%	12	100.0%	25	100.0%	116	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。											
回答した			79	100.0%	10	83.3%	9	36.0%	98	84.5%	<0.01
していない			0	0.0%	2	16.7%	15	60.0%	17	14.7%	
無回答			0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	1	0.9%	
合計			79	100.0%	12	100.0%	25	100.0%	116	100.0%	